

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第11号

第24週(6月11日～6月17日)

発行年月日:平成13年(2001年)6月25日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (24週)	累積報告数 (1週～24週)
1類感染症	報告なし	-	-
2類感染症	細菌性赤痢	0	2
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	16
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2
	急性ウイルス性肝炎	0	1
	後天性免疫不全症候群	1	2
	ジアルジア症	0	1
	梅毒	1	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	24週	増減	18～23週の平均
インフルエンザ	0		0.05
咽頭結膜熱	0.60		1.07
A群溶連菌咽頭炎	0.67		0.44
感染性胃腸炎	1.46		3.32
水痘	1.25		1.33
手足口病	0.10		0.13
伝染性紅斑	0.15		0.24
突発性発疹	0.25		0.49
百日咳	0		0.02
風疹	0.04		0.01
ヘルパンギーナ	1.35		0.28
麻疹	0.25		0.27
流行性耳下腺炎	0.96		1.14
急性出血性結膜炎	0		0.00
流行性角結膜炎	0.14		0.90
急性脳炎	0		0.02
細菌性髄膜炎	0.14		0
無菌性髄膜炎	0.14		0.12
マイコプラズマ肺炎	0.43		0.31
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0.02

* 増減は、18週～23週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

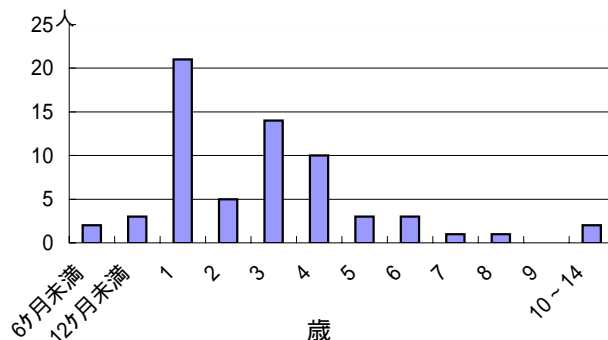
* **太字**は、今週の注目される疾患です。

3) 今週のトピックス

患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、18～23週の平均と24週を比較すると、A群溶連菌咽頭炎、風疹、ヘルパンギーナ等に増加傾向が見られます。また、咽頭結膜熱は全国的に増加傾向を示しており、夏の本格的なシーズンに向けて注意が必要です。特に滋賀県においては全国平均よりも高くなっています(2～3ページのグラフ参照)。

ヘルパンギーナ年齢別患者数



その他

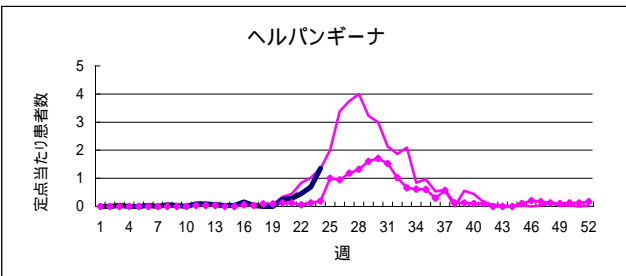
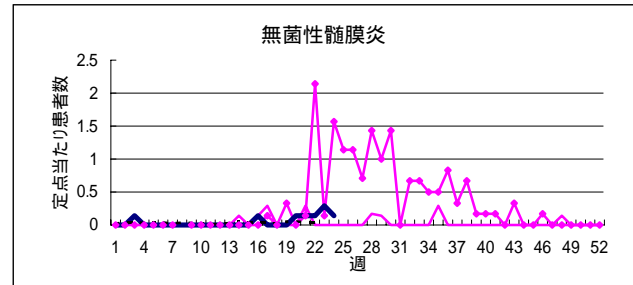
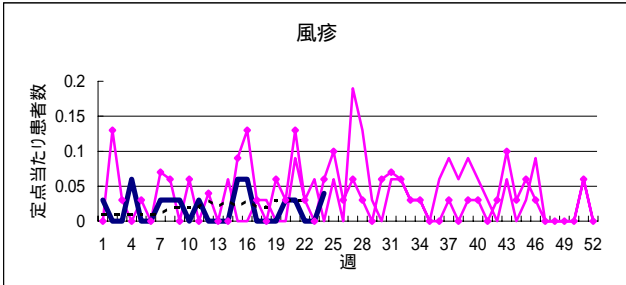
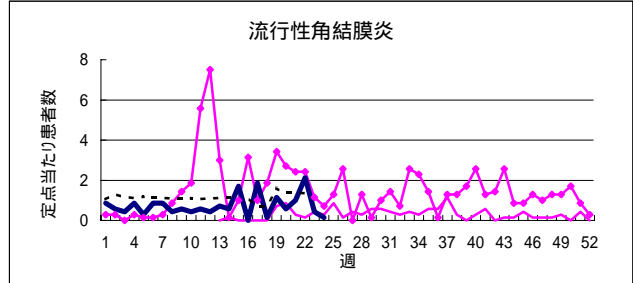
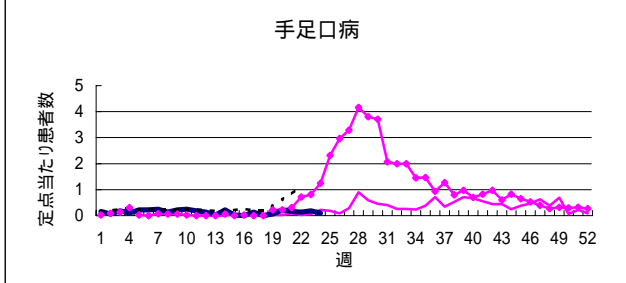
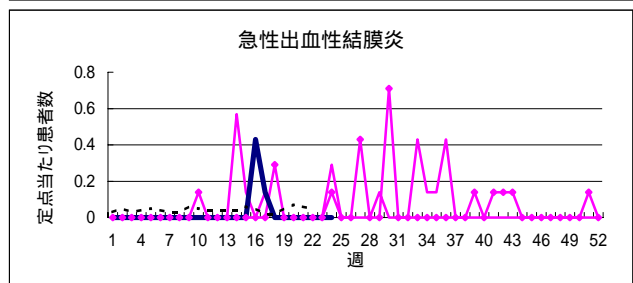
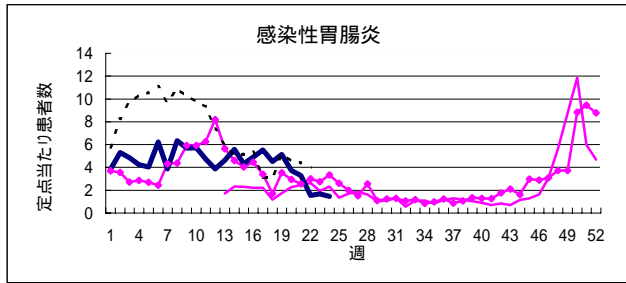
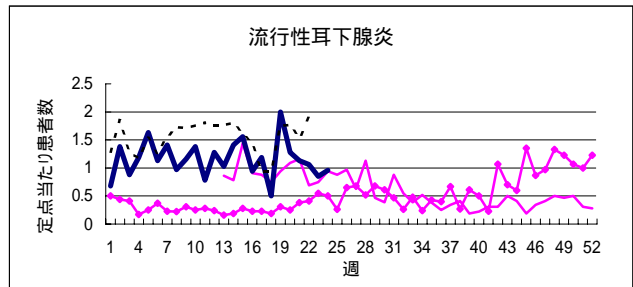
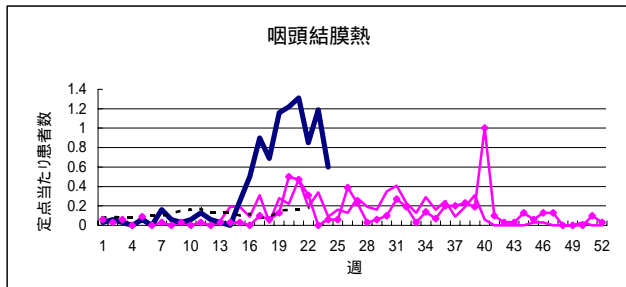
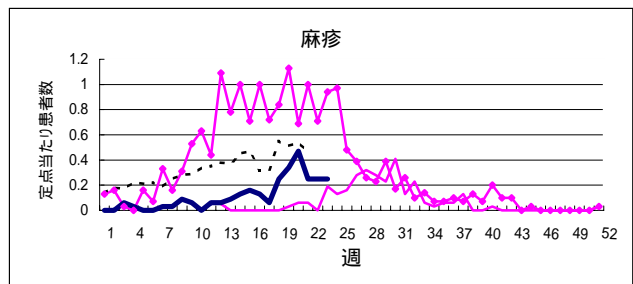
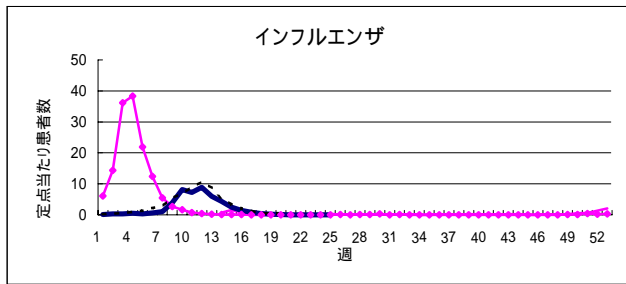
平成13年4月よりSIDR(滋賀県感染症情報)を発行していますが、ご意見等どのような事でも結構ですのでご連絡をお待ちしております。



全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

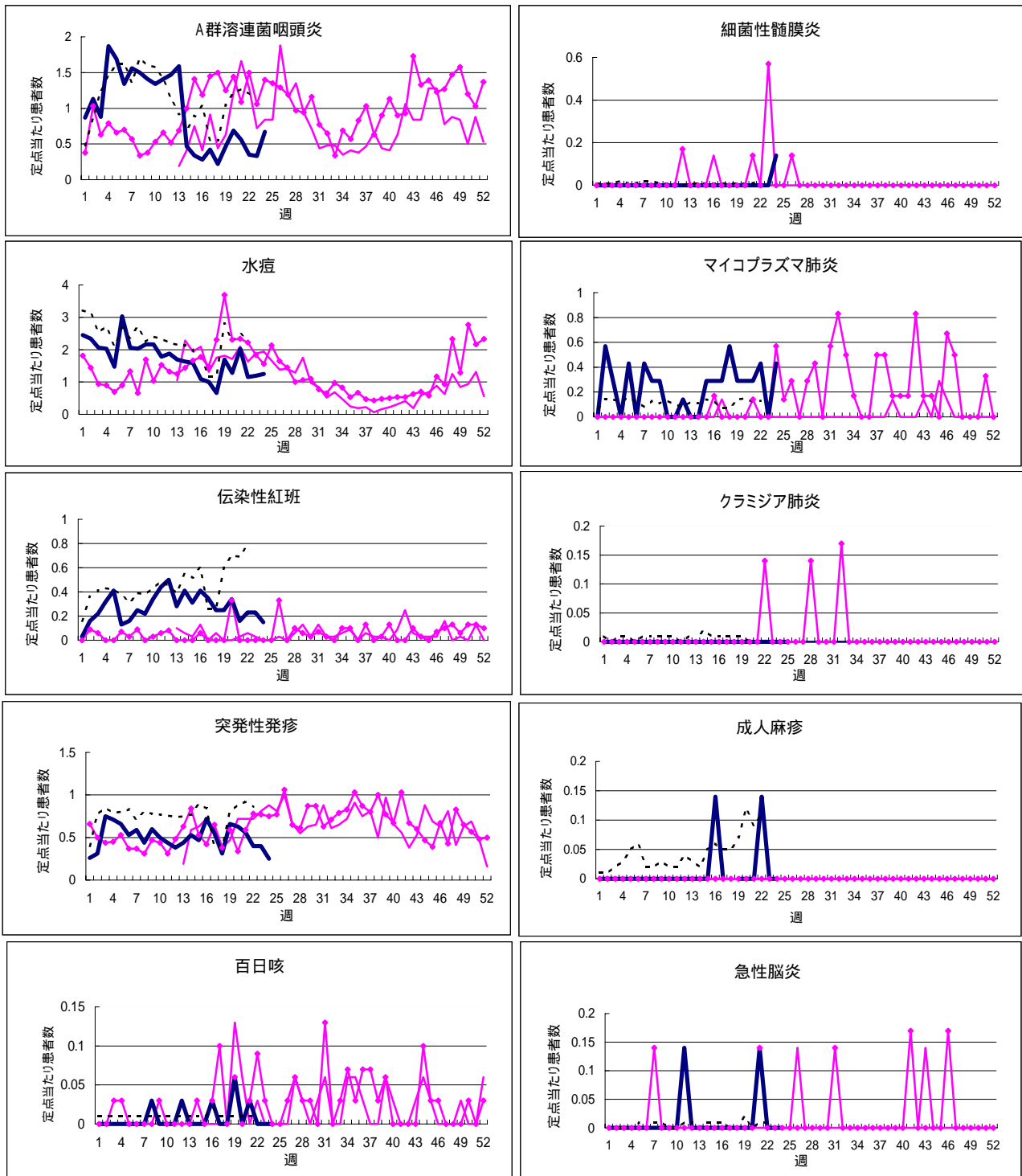
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第24週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第24週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●———●
 H13 ————
 全国 { H13 - - - - -